

【委員からの主な意見】

(1) 第6期みやぎ観光戦略プランの最終案

- ① 説明の中で欧米での認知度が低いという話があった。ニューヨーク・タイムズの今年行くべき旅行先に一昨年掲載された盛岡市では観光客が増えたという話もあるので、ニューヨーク・タイムズに金華山や田代島などを直接PRしてはどうか。
- ② 観光戦略プランは概念的なもので良いと思うが、具体性に欠けるとインパクトが弱いと思うので、方向性を示しつつ具体的なものも随所に盛り込んでいくという形を取って欲しい。
- ③ 前回会議でプランについてだいたいの意見が出されたが、網羅され、修正されているように感じている。「All round」の説明も分かりやすくなった。
- ④ 観光人材の育成確保というところで学生との観光に対する理解、醸成促進とあるが、具体的にはどのような取り組みなのか。我々は産業振興の立場で活動しているが、教育委員会にも協力していただくことが必要だと思う。
- ⑤ 道の駅東松島についてだが、年末年始とオープンへの期待感もあり、1年期はかなりの来客があった。その来客者のデータを石巻圏域の観光につなげられるように情報提供をしていきたいと考えている。
- ⑥ 来客者のナンバープレートのデータを毎日取っているのも、まとめ次第共有したいと思う。今のところ見ると県外から約2割、仙台市から5割程度の来客状況。圏域の情報がない状態で道の駅に来ている方が多いので、観光PRスペースでのパンフレット配布などにより、圏域に足を向けてもらうことが使命だと思っている。
- ⑦ 学生の観光に対する理解というところで、台湾やベトナムなどのアジア圏の観光客との交流をうまく活用しながら、観光に対して学生を参画させていければ良いと思っている。
- ⑧ 「All round」の説明について、宮城県を窓口に東北全体へ誘客拡大とある。確かに宮城県は空港もあり、東北のゲートウェイになっている。東北全体への誘客拡大は大事だが、まずは宮城県を中心に考えて欲しい。宮城県の隅々まで誘客を図った上で、東北に波及効果をもたらしていくように、宮城県のプランなので宮城県を最優先にという視点が必要だと思う。
- ⑨ 県の課題として宿泊業の賃金や労働生産性が産業全体平均よりも下回っているという項目があるが、恐らく宿泊業だけではなく飲食業や小規模な水産加工業や農業関係者の生産性も低いと思う。これは日本全体の一次産業、サービス産業全体に言えることだが、これをテーマに掲げているのであれば、具体的に施策の戦略のところはどういうものを導入すれば良いのかなどの記載が欲しい。DXと記載があるが、DXをどのように導入すればよいか分かっている人はほとんどいない。何を導入すれば良いのか、情報が行きわたっていないと思う。生産性向上というところは働く人たちの幸福にもつながるので、ここについてはロードマップをきっちと作って欲しい。
- ⑩ 宮城県のWi-Fi環境は整ってきているが、基本的にスポット的なものとなっているので、面的なWi-Fi設備を整備していただきたい。各施設ではほとんど導入されている

ので、パブリックなスペースや主要幹線道路沿いなど。特に今の観光客はスマホ片手に情報収集して歩くので。

- ⑪ タクシーに関する記述を、本文のみならず概要版にも記載して欲しい。
- ⑫ プランについては、かなりのボリュームだと感じるが、宿泊税の使途が気になるところ。人手不足により、インドネシアやカンボジア、ベトナムなど外国から若い方が働きに来ているが、労働環境が整っていない部分もある。外国人労働者の働く環境を整えていくことで、外国人労働者の故郷へ宮城の良さ発信することにもつながっていくと思うので、そういった情報発信をしてもらえるような環境づくりも新たな観光だと思う。
- ⑬ 世の中が物価高で働きづらいという現状で、いかにして宮城県に観光客を誘客するかという点が重要なのは理解するが、根本的に地域の方々が今どのように悩んでいるのかというところをプランに取り入れながら進めていくというスタイルも大事だと思う。
- ⑭ プランについては前回に比べて戦略含めてだいぶ良くなったと思う。ただし、やりっぱなしではなく、官民協力しあって、調査した結果に基づいた PDCA サイクルでプランを進めていければ良いと考えている。宿泊税の有効活用などの今後の展開によって変わってくる部分もあると思う。
- ⑮ 銀山温泉に行った際に、外国人がかなり多い印象を受けた。特徴がある観光地は、SNS で情報がかなり拡散されるので、SNS や海外のマスコミ関係者を利用しながら情報発信を行えると良いと思う。
- ⑯ 松島や瑞巖寺について、外国人が多い観光地と比較した差がどのようなものなのかを考えている。もっと外国人観光客が多く来ることができるような取り組みが必要だと感じている。とにかく基本的には温泉地の方が観光客が多いと思う。
- ⑰ 国や県が予算不足と言われている中で、多くの予算やエネルギーを観光業に投資しているのは、重要だからだと思う。日本の人口の急激な減少は止められず、閉塞感を感じざるを得ない中で、多くの交流を生み出すことができるという価値が観光にはある。
- ⑱ 観光振興を推進するというのは、観光に直接結びつく宿泊業や交通事業者やお土産屋が潤うためではなく、国が発展するため、地域振興のために重要なんだということで、可能な範囲で観光業というテーマの重要性をプランに記載しても良いと思う。
- ⑲ 「All round」という基本理念についても、関係者全員参加型というのはとても大切な考え方だと思う。外から来た観光客が地域で歓迎されている、自分が受け入れられていると感じることが本当に観光を楽しむスタートラインだと思う。自分に直接利益がなくても、外国人が地域を楽しむということが地域の発展のために重要なんだというような考え方をしていくことが、関係者全員参加型の体制を作っていくために必要なことだと思う。
- ⑳ 「All round」をテーマとしてそこに向かうプランが固まってきたわけだが、それを具体的に実行するためには民間が実行していく形で、具体案として地域一体となった情報を発信することが大きなムーブメントを起こすと思う。
- ㉑ 例えば東松島市ではベストツーリズムビレッジ 2023 という世界的な認定を受けている。これはインバウンドの方が観光地に求める 1 つの要素だと思うので、こういうところを SNS などでも 1 つの発信素材として活用すると良いのだが、認知度は低いと思っ

ている。このような圏域に点在する良い素材を情報発信できるような、民間も取り組める具体的な実行案が欲しい。

(2) 数値目標について

- ① 数値目標についてだが、かなり高い目標を掲げたなと思っている。不可能ではないと思うが、先ほど説明にあったように、今後、観光客は減少する可能性がある。円安の傾向がまだまだ続くと思われるのでインバウンドが極端に減るということはないと思うが、国内旅行については物価高や景気の停滞により減少傾向が見込まれる中で目標値がやや高めではないかと思う。
- ② 宿泊税が導入されるので、目標数値の達成度として、宿泊税を導入した効果を表せるような KPI の設定を強くお願いする。
- ③ 数値目標について、地域を自分事として応援しようと思うために、観光消費額等の金額だけではなく、関係人口の拡大など観光客がもたらす経済効果のような価値を捉える目標設定も重要なのでは。

(3) 圏域の施策の方向性及び取組

- ① 客船の誘致をする際には具体的なコンテンツが求められる。道の駅や KIBOTCHA で体験をする、金華山に行くなど、そういう具体的なものを組み合わせて数時間のコンテンツを作るということをやろうと考えていたが、同じことが石巻圏域全体でもできるのではないかな。寿司の握り体験など、小さなことを組み合わせてコンテンツにするというのも面白いのではないかな。
- ② タクシーがなかなか使ってもらえない。やはり今後の石巻圏域の観光振興では、インバウンドの取り込みが必要なのかなと思う。圏域の数値目標として、インバウンドの宿泊者数という数値目標を設定しても良いのでは。
- ③ マンガ文化という文言が修正で入れてもらった。今回 NHK の大河ドラマも芸術・文化がテーマなので、良いタイミングで石巻も脚光を浴びると良い。
- ④ 道の駅東松島に配架するパンフレットを県内市町から沢山いただいたが、2週間程度でほとんどなくなった。今回プランにドライブマップの作成が記載されているが、ドライブマップはかなり人気が高い。今、高齢の方がマップを使いながらドライブを楽しんでいるということもあるので、石巻圏域のドライブマップについては、マンガということもアイデアとして意識するとよいのではないかと期待している。
- ⑤ よくまとまったプランとなっていると思う。圏域でこれだけ観光について議論できたというのはここ2、3年で初めてのことだと思う。すごく良いスタートができそうだと感じている。
- ⑥ 40年前くらいの石巻は、漁業が盛んで、ものすごく賑わっていた。毎日漁船員が酒を飲みに行ったり、観光客が金華山に年間50万人ほど行っていた時期があった。時代を戻すことはできないかもしれないが、それに近づけるようにもう1度本気でチャレンジする時期だと思って、この会議に参加している。
- ⑦ プランを細かくまとめていただいて、具体的な戦術のところまで細かく書き込んでもらったが、この中のものを1つ1つどう実践していくかが大事。この会議には商工会議

所も観光協会も DMO も参加しているので、一緒になって、ここの項目をいくつ実現できるか毎年積み重ねていくことが大事なんだと思う。

- ⑧ 先ほどバスを利用する外国人が石巻ではほとんどいないという意見があったが、大阪や京都では高速バスを利用する外国人は多い。それは上手に空港と連携しているからだと思う。石巻圏域でも、もっと高速バスを使う雰囲気づくりを一緒に作っていければ、まだまだ外国人観光客が伸びる余地があるのではないかと感じている。
- ⑨ 圏域プランは内容も盛りだくさんで、キャッチフレーズも良い感じであり、期待したいと思う。
- ⑩ 宮城県の外国人観光客は、台湾の方が多いと思っている。一番の人気は日本食で、そのほか歴史や伝統も人気がある。宮城県を見てみると、石巻だけでも食は満足できるし、歴史と伝統的なものに関しても十分なものがあると思う。外国人が希望するコンテンツで、宮城を旅する際に旅行として歩けるコースを作らないと、どこに行けばよいのか迷ってしまうので、石巻の強みである食などを宿泊とともに、外国人の方や若い方に PR していけたら良いと思っている。
- ⑪ どのような組織体制で取り組んでいけばいいのか、非常に期待もしているし、圏域をなんとかしていきたいと思っている。
- ⑫ 仙台がインバウンドの窓口になると思うが、色々な調査をしている中で石巻に向かうバスにインバウンドがほとんどいない。JR がどのくらい把握しているか分からないが、インバウンドはどのような交通手段で石巻に来ているのか疑問。
- ⑬ 石巻市で春ごろにかわべいと石巻駅前にデジタルサイネージ、コース含めた観光の案内板ができるが、そういうものも色々有効活用して、今後の取り組みや展開イメージを具体化して、使えるものはみんな使った方がもっと誘客の幅が広がると思っている。
- ⑭ 野蒜駅から降りた際に、宮城オルレ奥松島コースに行く手段がないという話題があった。それについて、タクシー業界に打診して送り迎えをしてはどうか、スクールバスが朝と夕方だけの稼働となっていることもあるので、日中のスクールバスなど、そういうものを活用できないかなど東松島市でも色々と考えている。
- ⑮ 前回会議で、プラン概要版の石巻圏域の部分の記述が足りないという意見があったが、今回の最終案では圧倒的に石巻圏域の部分の文字量、情報量が多くなった。ぜひ宮城県本庁の方には石巻圏域はこれだけやる気があるということで、色んなリソースを配慮して欲しい。
- ⑯ 石巻は仙台に次ぐ第2位の人口を誇るエリア、あるいは港町として夜の文化が盛んだったという背景があり、夜の時間のコンテンツで楽しいものを作れる可能性があると考えている。一方で、コロナ禍により観光客のみならず地元の方も繁華街を利用しなくなっているという課題がある。観光客だけを見るのではなく、まず地元の人が地元のコンテンツを楽しむことが重要だということをプランに盛り込めると良いと思う。
- ⑰ 石巻の優位性として見落とされがちだが、地方の鉄道やバスが廃線になってきている中で、石巻には仙石線、仙石東北ライン、高速バスがあり、1時間あたり3、4本は仙台と行き来できるという他の地域にはないものがあるので、積極的にこれを活用して、仙台圏に来ている人を誘客するなど、仙台との交通アクセスの有効活用を意識していかなければならない。

- ⑱ 具体的な施策が沢山出ているが、地域独自の体験コンテンツを PR できるよういくつかのプランニングを示すことができれば、様々な経済価値に寄与できるのではないかと。ただ単に観光で回遊するということではなく、体験という価値があるものを提供していきたい。

（４）宿泊事業者部会について

- ① 宿泊事業者部会においては、ゲストハウスや民泊は、インバウンドからの需要が高いため、それらの事業者の声も拾っていただきたい。